第２回日南町中心地域整備検討委員会　次第

と　き：令和６年７月１３日（土）
　　午後１時３０分～午後４時
ところ：日南町役場　交流ホール

１　開　会

２　挨　拶（日置委員長）

３　第１回日南町中心地域整備検討委員会　振り返り
　第１回日南町中心地域整備検討委員会会議録（資料１）

４　協議事項
　日南町中心地域整備検討委員会設置要綱の変更について（資料２）

５　委員委嘱

６　諮　問　　諮問書（資料３）

７　議　事
（１）副委員長選任
（２）新日南病院建設候補地選定について・・・・・・・・・（資料４）

（３）第２回日南町中心地域整備ワークショップの概要・・（資料５）

（４）コンパクトヴィレッジ構想 2.0

　　コンセプト及びゾーニングについて・・・・・・・・・（資料６）

（５）その他

　・スケジュールについて・・・（資料７）

８　閉　会

「日南町中心地域整備検討委員会」メンバー

	分　野	所　　属　・役　職		氏　　名
1	有識者	鳥取大学	特任教授	日 置　佳 之
2	〃	明治大学	准教授	片 野　洋 平
3	〃	シティラボ東京 合同会社マチトワ	コミュニケーター共同代表	西　昭 太 朗
4	地元自治会	生山自治会	会長	伊 藤　政 美
5	〃	霞自治会	会長	長 尾　春 彦
6	地域団体代表	日南町自治協議会	会長	松　田　正
7	町民代表			糸 田 川　啓
8	〃			山 脇　亜 紀
9	〃			中 村　建 治
10	商　工	日南町商工会	会長	福 田　一 哉
11	〃	日南町商工会青年部	部長	東　洋　祐
12	福　祉	日南福祉会	理事長	坪 倉　孔 喜
13	〃	日南町老人クラブ連合会	会長	大 塚　武 史
14	交　通	㈱共立ソリューションズ	地区担当マネージャー	八木橋　隆雄
15	〃	日南交通㈲		西 谷　直 文
16	教育・子育て	日南小中学校PTA	会長	前 田　美 沙
17		こども園保護者会	会長	古垣内　大輔
18	〃			井 上　慈 子
19	〃			中　田　望
20	金　融	㈱山陰合同銀行根雨支店生山出張所	所長	三 浦　秀 賢
21	〃	（株）鳥取銀行生山支店	支店長	上 原　佑 介
22	行政	日南町	副町長	角　井　学

＜オブザーバー＞

区　分	所　　属　・役　職		氏　　名
鳥取県	輝く鳥取創造本部とっとり暮らし推進局人口減少社会対策課	課長補佐	大 谷　武 彦
〃	西部総合事務所日野振興センター日野振興局地域振興課中山間地域連携担当	中山間地域振興リーダー	鈴 木　陽 子

＜事務局＞

区　分	所　　属　・役　職		氏　　名
日南町		教育長	青 戸　晶 彦
〃	総務課	課長	実 延　太 郎
〃	まち未来創造課	課長	島 山　圭 介
〃	〃	参事	川 上 将 典
〃	地域づくり推進課	課長	浅 田 雅 史
〃	〃	ＣＩＯ補佐	藤 見　昌 延
〃	〃	室長	安 達　秀 樹
〃	〃	室長	榎 尾　公 宏
〃	住民課	課長	島 山　亮 子
〃	環境エネルギー課	課長	宇 田　聖 子
〃	建設課	課長	渡 邊　輝 紀
〃	農林課	課長	坂 本　文 彦
〃	福祉保健課	課長	出 口　真 理
〃	こども若者未来課	課長	段 塚　直 哉
〃	教育委員会	次長	三 上　浩 樹
日南病院		事業管理者	福 家　寿 樹
〃		参事	木 下　順 久

日南町中心地域整備検討委員会（第１回）会議録

日　時　令和６年４月 20 日（土）

午後３時 25 分から午後４時 55 分

場　所　日南町役場　交流ホール

出席者　別紙のとおり

次第１　開会

〇事務局

第１回日南町中心地域整備検討委員会、開会宣言。

次第２　開会挨拶

〇中村町長

第１回中心地域整備検討委員会へのご出席、また委員としてご快諾感謝申し上げる。検討委員会には、本町と深い関わりのある鳥取大学の日置教授、また、明治大学の片野准教授を初め、デジタル技術を使ったまちづくりに取り組んでいただいてるシティラボ東京マチトワの西代表、町内からは各分野でご中核的な役割としてご活躍いただいている皆様方にお集まりいただいている。更には、先ほどご講演をいただいた明治大学の小田切教授、そして鳥取県職員の皆様にもアドバイザーとしてご参画いただき、深く感謝申し上げる。

本日から本町の中心地域整備に向けた計画を本格化させていきたい。今回の計画策定にあたっては、本年 12 月を目途としたいと考え、この間４回の検討委員会を予定させていただく。計画の策定に当たっては、町民を巻き込み、町民の声を拾い上げ汲み取っていきたい。20 年後、本町の人口は半減すると予測されている。小田切教授の講演にもあったとおり、この広大な地域を少人数で維持していくためには、今までとは違った別の仕組みを考えていかなければならない。日南町が持続可能なまちづくりを進め、町民が夢を描ける計画を策定したい。委員各位のご協力と活発な議論をお願い申し上げる。

次第３　委嘱状交付

〇中村町長

　中村町長からの委嘱状の交付は、時間の都合上この場では代表者１人のみ。委員を代表して、鳥取大学日置佳之特任教授に委嘱状を交付。（任期は、令和６年４月20日から令和７年３月31日まで）

次第４　委員紹介（自己紹介）

〇事務局

　初顔合わせでもあり、委員それぞれ一言ずつ自己紹介。

次第５　委員長・副委員長選出

〇事務局

　設置要綱第４条に基づき、委員長・副委員長の選出は委員からの互選。委員長・副委員長への立候補者の挙手。立候補者なし。

　事務局案の提示。委員長には鳥取大学日置佳之特任教授、副委員長には中村町長。拍手多数、承認。委員長の職責は非常に大きく難しい仕事だと感じているが、皆様のご協力をいただきながら、良い結論を導けるように頑張りたい。（委員長）

次第６　議事

〇委員長

　最初に、会議の公開等会議録等について事務局から説明を。

〇事務局

　資料１「会議の公開と会議録等について（案）」に基づき、説明。

〇委員長

　全体として、非常に公開度が高い開かれた形での会議ということになるが、皆さんからご質問

やご意見があれば伺う。

〇委　員

特になし。拍手多数、承認。

〇委員長

次に、本日の会議録確認委員を選任する。これは委員長権限で指名できることになっており、会議録確認委員には、商工会青年部の東委員にお願いしたが、東委員よろしいか。

〇東委員

了承。

〇委員長

次に、資料２「日南町中心地域整備検討委員会の趣旨と進め方について」事務局から説明を。

〇事務局

資料２「日南町中心地域整備検討委員会の趣旨と進め方について」に基づき、説明。

〇委員長

事務局からの説明について、委員の皆さんからご質問ご意見があれば伺う。

〇委　員

検討委員会の開催が今日入れて 4 回だが、7 月 10 月 12 月の検討委員会の開催について、時間や曜日は考えているか。

〇事務局

本日の会議終了後、特に 7 月については早速にでも調整させていただきたいと考える。全体で 22 人の大勢の会議となるため、出来るだけ委員のご都合の良い時間帯を考えながら平日・土日・祝日、昼夜などいちばん集まりやすい時間帯に調整させていただきたい。

〇委員長

その他あるか。無いようなので、この趣旨と進め方でご了解いただけるか。

○委　員

了承。

○委員長

次に、資料３「中心地域整備計画の策定に向けて」事務局から、説明を。

○事務局

資料３「中心地域整備計画の策定に向けて」に基づき、説明。

○委員長

本日の議論の中心的な内容になる部分の説明であったが、ご質問ご意見あれば伺う。

○委　員

日南病院の建設については、ずっと前から色んなところで話が出ているが、ハザードマップはちゃんと考慮されてるのか疑問に思っている。これだけ大雨土砂災害、地震等々もある中で、本当にこの位置でいいのかという疑問があるがどうか。

○事務局

資料３の１０ページにある８つの候補先を示しているが、防災の観点からは大きく２点。ひとつ目には、日野川からの洪水・浸水に対してどう対応するのか。もうひとつは、いわゆるイエローゾーン、レッドゾーンという観点から土砂災害に対する対策をどうするか。それぞれにおいては、全ての候補地とも残念ながら現状では何も対策をしなくても良いということはないという状況である。

ただ、対策にかかる費用等については、本日別冊で配布した「日南病院基礎調査報告書」の２ページに候補地の８つを示している。３ページ以降に、それぞれの候補地の概要をまとめている。そして、更なる計画を加えた内容については、２１ページ以降に記載している。いずれにせよ、洪水・浸水、土砂災害対策は必要ということで認識いただきたい。

○委員長

ほかに質問あるか。

○委　員

日南病院の候補地８つの面積は色々あるが、実際、病院の予定面積はどれくらいなのか。それ

が分からなければ、どこに建てるにしても広い・狭いが分からないのではないか。

○事務局

　資料「日南病院基礎調査報告書」の１９ページ、病院本体の想定される面積が６０床と７５床の二通りを考えているが、それぞれ２，５００平米、２，７００平米の建築面積を考えている。

　また、資料１７ページに病院の建築面積プラス周辺に必要となる駐車スペースは約１８０台程度の規模になるが、これを含めた総面積が整形地で約１２，０００平米ぐらいが必要だろうと考えているが、各候補地については満たしていない所もある。

○委員長

　資料は、結構詳しく検討していると読み取れるが、建築面積は６０床或いは７５床ということで、どの位置であってもこれは変わらないという理解でよいか。

○事務局

　良い。建築面積の２，７００平米が入るということでの選定である。

○委員長

　それぞれの敷地の形状があるので、真四角だと１２，０００平米だが、少しずつ異なってくるが、報告書に詳しく書いてあるので見れば分かる。その他、質問あるか。

○委　員

　病院の建築面積が論じられているが、そもそもどんな病院にするのか、どんな機能を持たせるのかというのも議論が必要だと思う。よって、建築面積の議論が先に立つと前提に立つと議論しにくくなってしまうので、機能も含めて議論していくことが大事だと思う。

○委員長

　他には、いかがか。

○委　員

　前増原町長が打ち出したコンパクトヴィレッジ構想は、「道の駅を核として半径１㎞以内に機能を集約させる」としているが、道の駅を拠点とした当時の根拠があれば教えて欲しい。

○事務局

当時、「道の駅に人を集めていく仕組みをつくりたい」という思いがあったと認識。これまで産業や商業などバラバラだった媒体を道の駅周辺に集め、人を集める。そして、道の駅には野菜や日南町の魅力ある商品を集め、町外の皆さんが道の駅を目的地として来ていただくというコンセプトで「誘導する過疎」をテーマに道の駅を核とした。

○委　員

町民だけではなく、町外の方も含めた人の集まりという意味であったという理解でよいか。

○事務局

その理解でよい。

○委員長

コンパクトヴィレッジ構想では、道の駅を「中心」としているが、「中心」の意味は、ここに色んなものを集約するという意味なのか、それともここをコンパスの起点にした半径１㎞圏内をコンパクトヴィレッジとするという意味なのか。

○事務局

後者の方。道の駅をコンパスの起点として半径１㎞圏内に収まる範囲を中心地域とし、そこに行政機能や教育機能、医療機能、交通機能等をゾーニングしたということ。

○委員長

そうすると現在、道の駅も既に出来ている訳だが、そこに更に色んなものを全部集約していかなければいけないということではない、という理解で共通認識をお願いしたい。

初回なので、委員にそれぞれの思いを語っていただきたい。この中心地域の整備に関連して大切だと思うことや、是非やって欲しいことなどでも結構である。

○委　員

町の賑わい活性化という観点から、活気ある町の条件は、様々な機能が同時に複数のものが存在することだと思う。だから機能を分けていくのではなく、様々な機能が同一的に存在する方が望ましいと感じている。

○委　員

日南病院候補地の位置図を見た限りでは、現在の病院の位置と候補地７の生山地区（生山駅周辺）というのは無いのかなと思う。

○委　員

日南病院の候補地に圃場整備田が３か所くらいあるのではないか。霞地区は自分で農作業されている方はすごく少なく小作に出しているが、これからの農業のあり方についても自治会内で検討するような会合を設けている。これらも含めて地元の意見を集約したい。

○委　員

日南病院を無くすという訳にはいかない。病院がない町は魅力がなくなってしまう。病院は絶対必要だということを考えてもらいたい。この検討委員会は、病院だけの検討か。それとも、その他付随するものも考えていく、ということなのか。

○委員長

後者の方。中心地域整備計画なので、勿論、病院をどこに立地させるかはすごく大事だが、そのことだけを考えるものではなく、それに関連してこの地域をどういうふうに作っていくかという全体の話である。

○委　員

いろんな現実を突きつけられている。その現実を受け入れていかなければならないが、今考えないといけないのは、この先ライフラインがこのまま維持されるのかということ。それらを考えながら今後のコンパクトヴィレッジを議論していかないと駄目だと感じている。どうせならすごく奇抜なアイデアの日南病院となれば楽しいかなと考えている。

○委　員

残念ながら道の駅については、町民の利用が少ない。また、子どもたちの居場所というのが無いと感じる。前回の中心地域整備計画の際に、公園をつくる予定だったはずだが、現在出来ていない。子どもたちもとても切望しており、公園整備を実現できたらいいなと思う。

○委　員

今回のコンパクトレジ構想については、個人的には肯定的である。小田切教授の講演にもあったように、暮らしの物差しづくり、人材・カネとその循環づくりについて、当事者意識を持って

検討会に積極的に関わりたい。

○委　員

　コンパクトヴィレッジを更に進化させていく中で、皆さんが使いやすい便利な機能を持たせたものを、一生懸命知恵を絞って考えていく必要性を感じている。

○委　員

　それぞれの候補地に病院ができたとして、病院以外の必要な整備を今の時点で写真やグラフィックなどにでも落としてみれればイメージも定まっていくような気がする。個人的には生山駅の場所もJRの利用も含めて面白いのではと感じる。どの候補地にも可能性がある中で、予算など何かネックになるのかまだ分からない状況で、引き続き色んな角度から検討が必要と感じる。

○委　員

　道の駅の地内にある製材所の跡地の有効利用も併せて考えていかなければならないのではないかと思う。

○委　員

　まだ勉強不足なので、これからしっかりと勉強していきたい。

○委　員

　詳しい資料を今日初めて見たので意見は言えないが、「賑やかな過疎」というワードはワクワクする。日南町について考えて盛り上げれるような意見を出していきたい。

○委　員

　道の駅を起点とした中心地域整備構想には賛成する。新しい日南病院の建設地が道の駅の周りだと皆助かるのではないか。子どもの病院受診帰りに必ず買い物をして帰る。ローソンにも連れて行くことができる。また、高齢者についても免許返納した方などは現状の病院と買い物施設との距離はバスの便数などからも不便さを感じていると聞く。経済循環の観点からも機能集中したほうが良い。

○委　員

　道の駅で地元の方の利用が非常に少ない印象がある。地元の方がもっと利用できるように機能が集中した中心地域であるべきだと感じる。

○委　員

道の駅はイベント等では利活用されているが、日常使いとしてやはり町民の姿を見る機会が少ない。コンパクトヴィレッジというのは誰目線、誰向けにつくるのかの議論も必要ではないか。町外から外資を稼ぐのは経済としては非常に大事だが、まちづくりとして住民を中心に考えるときに、今はまだ道の駅が機能していないという印象がある。ますます高齢化が進むのは必然的なことなので、交通の便など人の動線を意識したまちづくりをしていくべき。やはり機能集約は大事で、今ある機能をどう生かしていくかも踏まえてしっかりと議論すべき。

○委　員

コンパクトヴィレッジをつくっていくには、期間的にすごく長い時間がかかると思うが、その中でどうやって町民に伝えていくかや、町民に理解してもらうかというところがすごく重要だと思う。また、若年世代の定住人口を増やし、雇用の場の創出が求められているというところで、日南町以外の方にもどうやって情報を届けていくかはすごく重要だと思う。よって、町民参加の立場から言うと、視覚的に分かりやすい見せ方や手段などを考えながら、あらゆる人たちを巻き込んでいくという方法も必要だと思う。

○委員長

委員からのご意見・思いの中には重要な論点になりそうな部分がたくさんあったと感じる。では、論点整理に入る。今日の論点１の「中心地域の定義」については、道の駅はあくまでもコンパスの起点であり、そこに何もかも集約するということではなく、半径１㎞圏内に様々な機能を集約してコンパクトヴィレッジにしていくということで共通理解としたい。

論点２の「コンパクトヴィレッジのコンセプト」については、従来は道の駅を核としたまちづくりというふうに考えていたが、委員の皆さんの思いからすると、必ずしもそこに何もかも集約するというのは現実的でなく、今ある機能を活かしてさらに拡充していくという考え方もあるだろうというお話だったと思う。

論点３の「新日南病院の候補地選定」の議論を進めるにあたり、私なりに中心地域における現有の機能を整理した内容を話す。道の駅ゾーンについては、観光の拠点になっている。また、商業の拠点の一部でもあるが、町外向けになっている。それから消防署があることもあり、例えば普通の公園機能も持ち合わせた防災公園の整備など防災の拠点というのが将来的にはあり得ると考える。さらに病院をここに移転したら医療福祉の拠点にもなる。

次に、私達が今いるこの場所が霞だが、間違いなく行政の拠点そして文化の拠点である。また、町民向けの商業の拠点であり、パセオでは多くの方が買い物をされている。更に合銀や農協、郵便局があり金融の拠点であるといえる。もしもここに病院が移転してくれば、ここも医療福祉の拠点にもなり得る。現有の施設は動かしにくいし、現在あるものを活かすという方が時間や予算的には節約になるため、それは重視した方が良いのかもしれない。そして、今申し上げた２つの間に、教育の拠点があるということになる。

生山駅の場所については、鉄道とかバスの交通結節点になっていて、交通の拠点というのは間違いなくあると思う。また、商業施設が幾つかあるので商業の拠点のひとつもなっている。

このような中、医療福祉の拠点をどこに持っていくのかということによって、まちのあり方や利便性、防災機能などが決まってくるというふうに考えられる。そういう事を踏まえながら議論を進めていかなければならないと思う。

委員の皆さんから何かご意見あるか。

〇委　員

防災公園など、防災の視点は考える必要があると思うし、病院の候補地の選定にも判断材料となると思う。

〇委員長

では、論点３の病院の候補地選定について、８ヶ所の候補地があるがどう絞り込んでいくかだが、本日の別冊資料、病院基礎調査報告書を見ながらまちの全体像を描き、皆さんのご意見を踏まえながら、最終的に１ヶ所に選定するために、２段階方式で絞り込んでいくのが良いのではないかと思う。候補の絞り込にあたり、実行委員会の中に専門部会を設けて集中的に検討してもらい次回の委員会に報告してもらう形はどうか。事務局から資料４、委員会の設置要綱について説明を。

〇事務局

資料４、「日南町中心地域整備検討委員会設置要綱」に基づき説明。

〇委員長

設置要綱第３条第３項の規定に、委員会には専門事項を調査または検討するため、部会を設けることができるとある。本日、専門部会を設け、その部会長を選任し、部会のメンバーについては後日、部会長と事務局が相談して決定したいと考えるが、部会員は何人くらいか。

○事務局

　１０人程度でお願いしたい。基本的には委員の中から選任ということになるが、場合によっては、より専門的な事項に関して外部に委任することができるとも謳ってあり、委員以外のアドバイザーなどの形もあるかもしれない。ご協力をいただきながら進めていきたい。

○委員長

　了解。絞り込みに関しては、現在の８か所をいくつに絞り込むのか、そういうことも部会に一任するということでよいか。

○事務局

　先ほどの議論の中で、絞り込みは２段階で進めていくという話が出たが、７月の時点で４つぐらいまで絞り込みたいと考えている。

○委員長

　委員各位、ご了解いただけるか。

○委　員

　了解。

○委員長

　病院候補地の選定について、委員からその他ご意見あれば伺う。

○委　員

　候補地には町有地も私有地もあるが、私有地の場合は全て買収するという理解でよいか。

○事務局

　私有地の場合は当然、町なり病院で買収することになる。

○委員長

　それでは、先ほどの議論の中でも委員の皆さんからも病院の立地についても様々な意見や要望があったが、それらを踏まえて部会で検討していただきたい。では、新病院建設候補地の選定にかかる部会の部会長を決めたい。部会長について、立候補する方はいないか。立候補される方は挙手をお願いしたい。

○委　員

はい。（片野委員、挙手）他者無し。

○委員長

片野委員から立候補があったがそのほかは無しである。委員の皆さん、承認いただけるか。

○委　員

承認。

○委員長

片野教授を新日南病院建設候補地選定部会の部会長とする。

以上で、本日の議事は終了する。

○事務局

第２回の検討委員会は７月ごろを予定する。日程については、委員各位のご都合伺いながら調整し、改めてご案内する。また、新日南病院建設候補地選定委員会のメンバーについは片野部会長と協議し、追って通知させていただく。

以上で、第１回日南町中心地域整備検討委員会を終了する。

令和　　年　　月　　日

会議録確認委員

氏　　名　　㊞

日南町中心地域整備検討委員会　名簿

別紙

	分　野	所　　属　・役　職		氏　　名	第1回 (4/20)
1	有識者	鳥取大学	特任教授	日置　佳之	○
2	〃	明治大学	准教授	片野　洋平	○
3	〃	シティラボ東京 合同会社マチトワ	コミュニケーター共同代表	西　昭太朗	○(web)
4	地元自治会	生山自治会	会長	伊藤　政美	○
5	〃	霞自治会	会長	長尾　春彦	○
6	地域団体代表	日南町自治協議会	会長	榎尾　稔正	○
7	町民代表			糸田川　啓	○
8	〃			山脇　亜紀	○
9	〃			中村　建治	○
10	商　工	日南町商工会	会長	福田　一哉	○
11	〃	日南町商工会青年部	部長	東　洋祐	○
12	福　祉	日南福祉会	事業統括部長	入澤　良子	欠席
13	〃	日南町老人クラブ連合会	会長	大塚　武史	○
14	交　通	㈱共立ソリューションズ	地区担当マネージャー	八木橋　隆雄	欠席
15	〃	日南交通㈲		西谷　直文	○
16	教育・ 子育て	日南小中学校PTA	会長	前田　美沙	○
17		こども園保護者会	会長	古垣内大輔	欠席
18	〃			井上　慈子	○
19	〃			中田　望	欠席
20	金　融	㈱山陰合同銀行根雨支店生山出張所	所長	三浦　秀賢	○
21	〃	（株）鳥取銀行生山支店	支店長	上原　佑介	○
22	行政	日南町	町長	中村　英明	○

＜オブザーバー＞

区　分	所　　属　・役　職		氏　　名	
鳥取県	輝く鳥取創造本部とっとり暮らし推進局人口減少社会対策課	課長補佐	大谷　武彦	欠席
〃	西部総合事務所日野振興センター日野振興局地域振興課中山間地域連携担当	中山間地域振興リーダー	鈴木　陽子	○

別紙

＜事務局＞

区　分	所　　属　・役　職		氏　　名	第1回 (4/20)
日南町		副町長	角 井　　学	○
		教育長	青 戸　晶 彦	○
〃	総務課	課長	実 延　太 郎	○
〃	まち未来創造課	課長	島 山　圭 介	○
〃	〃	参事	川 上 将 典	○
〃	地域づくり推進課	課長	浅 田 雅 史	○
〃	〃	ＣＩＯ補佐	藤 見　昌 延	○
〃	〃	室長	榎 尾　公 宏	○
〃	建設課	課長	渡 邊　輝 紀	○
〃	農林課	課長	坂 本　文 彦	○
〃	福祉保健課	課長	出 口　真 理	○
〃	教育委員会	次長	三 上　浩 樹	○
日南病院		事業管理者	福 家　寿 樹	○
〃		参事	木 下　順 久	○

日南町中心地域整備検討委員会設置要綱

令和６年４月　１日要綱第 10 号
改正　令和６年　月　日要綱第　　号

（目的）
第１条　日南町中心地域整備検討委員会（以下「委員会」という。）は、本町がこれまで進めてきた「日南町コンパクトヴィレッジ」をさらに発展させ、人口減にあっても「持続可能なまち」であり続けるための今後の中心地域の機能強化・整備方針及び計画等について、検討することを目的として設置する。

（所掌事項）
第２条　委員会は、次の事項について町長の諮問を受け検討し、その結果を町長に答申するものとする。
（１）日南町中心地域整備計画の策定に関すること
（２）新日南病院の立地及びまち空間との融合に関すること
（３）その他必要な事項

（組織）
第３条　委員会は２５名以内の委員で組織し、町長が委嘱する。
２　各委員の任期は、委嘱の日から令和７年３月 31 日までとする。
３　委員会には、専門事項を調査又は検討するため、部会を設けることができる。
また、当該専門事項に関する他の審議会等に調査又は検討を委任することができる。

（委員長）
第４条　委員会に委員長及び副委員長を置き、委員の互選によりこれを定める。
２　委員長は委員会を代表し、会議を総括する。
３　副委員長は委員長を補佐し、委員長が欠けたときは職務を代理する。

（会議）
第５条　委員会の会議は、委員長が召集し、委員長が議長となる。
２　委員会は、委員の３分の２以上が出席しなければ会議を開くことができない。
３　委員会は、必要に応じて関係者に出席を求めて意見を聴くことができる。

（庶務）
第６条　委員会事務は、地域づくり推進課及びまち未来創造課において処理する。

（雑則）
第７条　この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が委員会に諮って別に定める。

（附則）
この要綱は、令和６年４月１日から施行する。

（附則）
この要綱は、令和６年　月　　日から施行する。

第６０１９９５号
令和６年７月 13 日

日南町中心地域整備検討委員会 委員長　様

日南町長　中村　英明

日南町中心地域整備計画の策定に係る方針について（諮問）

このことについて、日南町中心地域整備検討委員会設置要綱の規定により、下記のとおり貴委員会に諮問します。

記

（諮問事項）
1　日南町中心地域整備計画の策定に関すること
2　新日南病院の立地及びまち空間との融合に関すること
3　その他必要な事項

（諮問趣旨）
本町は、平成 12 年の鳥取県西部地震による役場庁舎移転以降、20 年以上にわたり住民生活に必要な機能を中心地域に集約させる「コンパクト・ヴィレッジ構想」を掲げ、ホームセンターやコンビニエンスストア、道の駅等の商業施設のほか子育て支援センター、お試し住宅等の整備を進めてきました。

こうした中、令和５年度、日南病院の建て替え議論が本格化し、同年度末には「日南病院あり方検討委員会」から「新日南病院基本構想」が答申されたところです。

これらを踏まえ、人口減にあっても「持続可能なまち」であり続けるため、新たな中心地域整備計画を策定する必要があることから、ご意見を賜りたく諮問するものです。

日南町中心地域整備検討委員会
第１回新日南病院建設候補地選定部会　次第

と　き：令和６年６月１５日（土）
午後１時００分から
ところ：日南町役場１F 防災会議室

１　開　会

２　部会長挨拶

３　議　事

（１）4/20 検討委員会の振り返り

・4/20 第 1 回検討委員会議事録・・・資料１

（２）新日南病院の建て替えに向けた経過

・R5 日南病院あり方検討委員会～基本構想まとめ・・・資料２

・候補地基礎調査結果・・・資料３

（３）新日南病院建設候補地の選定基準

・新日南病院選定基準（案）・・・資料４**※終了後に回収します**

・日野川浸水想定図（選定基準①）・・・資料５**※終了後に回収します**

・公共交通路線図（選定基準②）・・・資料６**※終了後に回収します**

・候補地別半径距離図（選定基準③）・・・資料７**※終了後に回収します**

・埋蔵文化財包蔵地図及びオオサンショウウオ生息図（選定基準④）・・・資料８

※終了後に回収します

（４）選定協議

・新日南病院選定基準チェック表（案）・・・資料９**※終了後に回収します**

４　閉　会

【別冊 参考資料】

・町長諮問書【参考資料１】

・R5 新病院アンケート集計表【参考資料２】

・日南病院あり方検討委員会答申【参考資料３】

・日南町の景観を守り育てる条例【参考資料４】

・日南町公共建築物等における木材の利用促進に関する方針【参考資料５】

以下の選定基準（案）は、委員の皆様の議論のたたき台として事務局が作成したものですので、参考にしてください。

新日南病院候補地選定基準（案）

① 防災・災害リスクの視点（災害に強い候補地）

・洪水浸水区域、土砂災害警戒区域を含み災害リスクが否定できない候補地ではないか。
・災害時、孤立の危険性はないか。
・防災拠点との接続はスムースに図られるか。

② 公共交通の利便性の視点

・交通拠点機能との接続など、住民が安心して公共交通を利用できる利便性の高い候補地であるか。
・自家用車利用による利便性は確保されているか。

③ まちの関連施設機能との連携の視点

・役場、福祉関連施設、商業施設などと連動性の高い候補地であるか。
・既存施設と今後の連動性が見込める候補地であるか。
・高齢者が一般的に徒歩により行動可能な範囲内の候補地であるか。

④ 希少動植物、埋蔵文化財包蔵地保護等の視点

・希少動植物の生態系や埋蔵文化財等に影響を及ぼす可能性がどれくらいある候補地か。

⑤ 病院としての療養環境・周辺への影響の視点

・騒音など、利用者の療養・健康回復に適さない周辺環境は無いか。
・散歩やリハビリなど、利用者の療養・健康回復に適した周辺環境はあるか。

⑥ 財政負担の軽減及び工期の視点（民地・公用地、周辺整備）

・持続可能な町政運営に資するため、工事費、付帯工事が町の財政規模を超えたものになっていないか。
・町道拡幅、防災対策工事などの付帯工事及び用地取得において、予期せぬ工期延長等」が発生する恐れのある候補地ではないか。

選定基準に基づく選定実施方法（案）

○８つの候補地それぞれを、上記①～⑥の選定基準に基づき採点。
　５（☞課題が無い）
　３（☞課題が少ない）
　０（☞課題が大きい）
○合計評点の高い順に順位付けし、部会としての選定ラインを設定。

新日南病院建設候補地選定部会（選定基準採点結果）

（単位：千円）　R6.6.15

	候補地１（サワタ建設土場）	候補地２（道の駅裏手）	候補地３（文化センター駐車場）	候補地４（役場日野川挟んだ田）	候補地５（郵便局上手）	候補地６（今田組倉庫隣の田）	候補地７（生山駅ロータリ）
民地・公用地	民有地	町有地	町有地	民有地	民有地	民有地	町有地
建設工事費	3,944,000	4,885,000	3,765,000	5,320,000	5,135,000	4,364,000	3,812,000
付帯工事費	142,500	120,000	—	275,000	—	—	—
工事費　計	4,086,500	5,005,000	3,765,000	5,595,000	5,135,000	4,364,000	3,812,000
工事期間（設計から開院まで）	5年10ヵ月	4年2ヵ月	4年	5年	5年	4年11ヵ月	4年1ヵ月
防災・災害リスクの視点（災害に強い候補地）	19	26	30	9	11	17	30
公共交通の利便性の視点	20	32	32	8	18	8	18
まちの関連施設機能等との連携の視点	19	29	40	12	17	5	14
希少動植物、埋蔵文化財保護等の視点	9	23	40	9	9	9	40
病院としての療養環境・周辺への影響の視点	31	38	38	34	34	30	17
財政負担の軽減及び工期の視点（民地・公用地、周辺整備）	9	28	34	9	9	15	19
合　計	107	176	214	81	98	84	138
順　位	**４位**	**２位**	**１位**	**７位**	**５位**	**６位**	**３位**

（再掲）

順位	獲得点数	総得点（240点）中の獲得率	候補地
１位	214点	89.2%	候補地３（文化センター駐車場）
２位	176点	73.3%	候補地２（道の駅裏手）
３位	138点	57.5%	候補地７（生山駅ロータリ）
４位	107点	44.6%	候補地１（サワタ建設土場）
５位	98点	40.8%	候補地５（郵便局上手）
６位	84点	35.0%	候補地６（今田組倉庫隣の田）
７位	81点	33.8%	候補地４（役場日野川挟んだ田）

部会としての候補地

（８つの候補地 位置図）

【候補地３】駐車場確保について（案）

１ 概 要

- 病院基礎調査結果における**必要想定台数は 180 台**（患者用 90 台、職員用 90 台）とされており、**「候補地３」は、病院敷地内に 15 台分**（車椅子用駐車場 5 台、普通駐車場 10 台）を確保し、**残り 165 台分は周辺での確保**が必要としている。
- また、現在、「候補地３」は役場職員等の駐車場となっており、同地建設の場合、**役場職員等に加え新たに病院職員、患者の民様の駐車場を別に確保**することも考えなくてはいけない。
  → 想定確保必要台数 155 台（既存 191 台－必要台数 346 台）
- 方針決定に当たっては、**住民の利便性のほか、歩行者の安全面、用地確保や整備に要する経費面などを総合的に勘案**する必要がある。駐車場 1 台当たり 25m2 で試算。

２ 考えられる選択肢（案）

案1：役場周辺の町有地駐車場（役場・文化センター）を利用する

主なメリット	主なデメリット
■ 用地買収等新たな経費が発生しない ■ 新病院に隣接し利便性が高い	■患者用駐車場は、既存駐車場（役場前駐車場、文化センター前駐車場 計 191 台）との共用となる。役場職員等 141 台、役場利用者 40 台に加え病院関係 165 台となり、155 台分が不足する。 → 既存駐車場の稼働率：46.0%(R6.7.4-7.10)

案2：文化センター前の平面駐車場①を立体駐車場へ

主なメリット	主なデメリット
■ 駐車時に雨風を防げる。 ■ 災害時の避難場所として活用できる。	■平場駐車場に比べて建設コストが高額。 → 約 150 台収納タイプで最低3億円 ■塗膜防水、消火設備のメンテナンス費用がかかる。 ■立体駐車場を患者用駐車場等とするなら、職員用駐車場（役場・病院）は別に確保しなければならない。（全体で 50 台分不足）

案3：新病院をピロティタイプにし、１階部分を駐車場へ

主なメリット	主なデメリット
■ 患者用駐車場（90 台分）は確保できる。 ■ 駐車時に雨風を防げる。	■病院建設コストが増える。→ 約9億円の増額 ■ピロティを設置した場合、2階へのスロープ設置に必要な敷地面積が確保できるか否かの検討が必要。 ■職員用駐車場等の確保が別に必要。（65 台分が不足）

案4：病院近接地を再開発し駐車場へ

主なメリット	主なデメリット
■ 病院近くに、平場の患者用・職員用駐車場（180 台分）に加え役場職員等駐車場も確保できる。	■民間事業者との立ち退き、移転補償費交渉を行い、合意に至る必要がある。

案5：周辺の町有地（日南小中学校周辺）を駐車場へ

主なメリット	主なデメリット
■ 用地買収が不要で、土地購入費がかからない。	■まとまった土地がなく、点在している。 ■子ども達の登下校時の安全面に影響を及ぼす可能性がある。 ■川向こう（小中学校側）となるため、役場までの距離が遠くなる。

案6：周辺民有地を駐車場へ

主なメリット	主なデメリット
■ 300 台以上を収容できるまとまった土地がある。 ■ 役場までの距離が比較的近い（400m）。 ■ 病院建設候補地の一つであり、地権者に一定の理解がある。 ■ イベント時の臨時駐車場として利用可能	■町有地の活用に比べ、用地購入費や整備費がかかる。 → 約 1 億 7 千万円

「候補地3」までの各駐車場候補地状況

		面積（㎡）	駐車可能台数	候補地3までの距離（m）	候補地3までの徒歩時間（分）	備考
町有地	①	2,690	122	50	0.5	実数値
	②	430	14	120	1.5	実数値
	③	1,910	42	160	2.0	実数値
	④	490	13	30	0.5	実数値
合 計		5,520	191	—	—	
民有地	①	9,800	300	400	4.0	実数値

※徒歩時間：80m/分で試算

★候補地3に新日南病院を建設する場合

・A：町有地で191台分を確保（①～④）

・B：役場職員等利用台数：141台

・C：新日南病院利用台数見込：165台

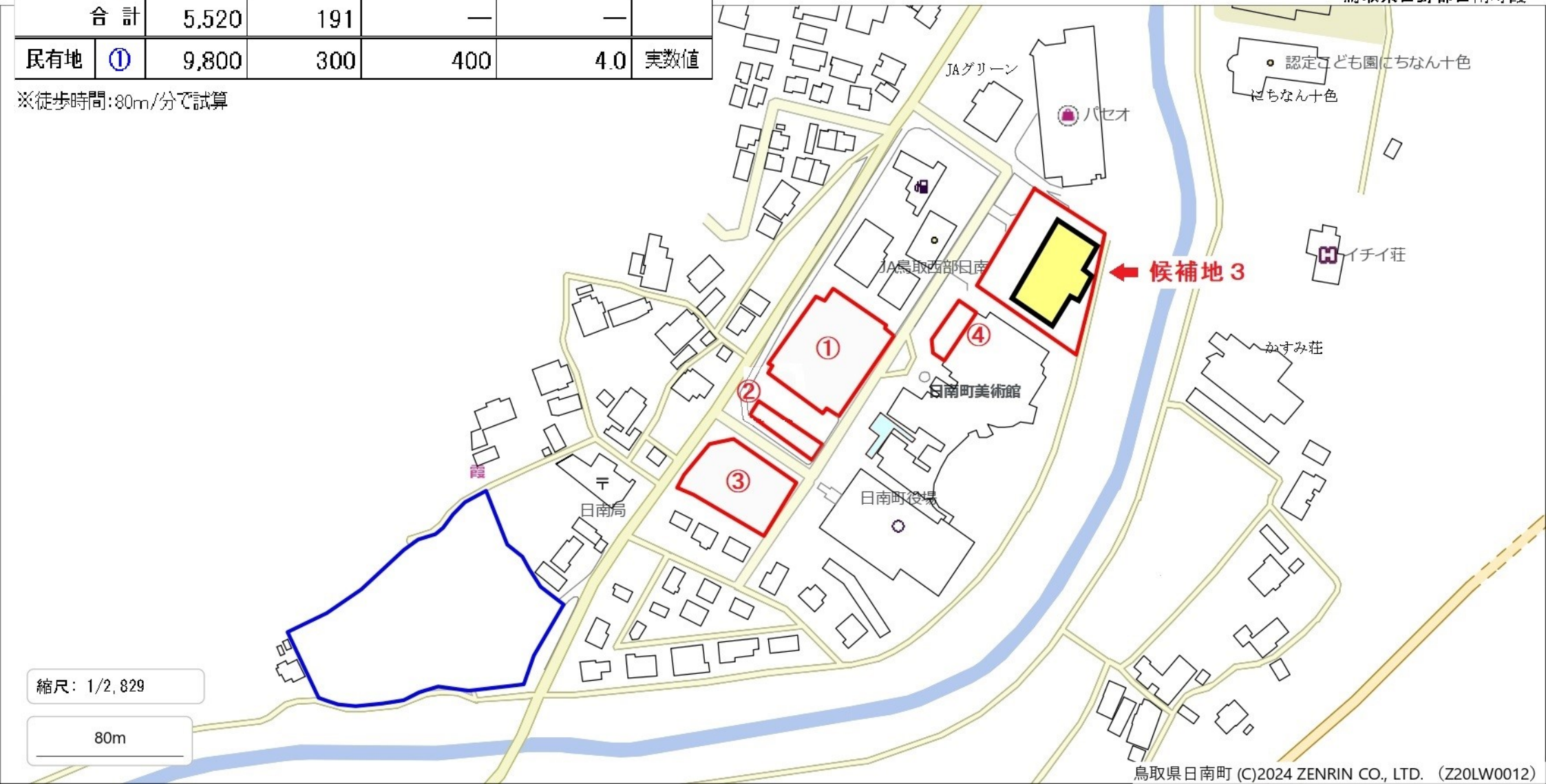
（患者：90台（うち15台は候補地3）、職員90台）

・D：役場等来客者数：40台

↓

・E：駐車場不足台数：A−B−C−D＝▲155台

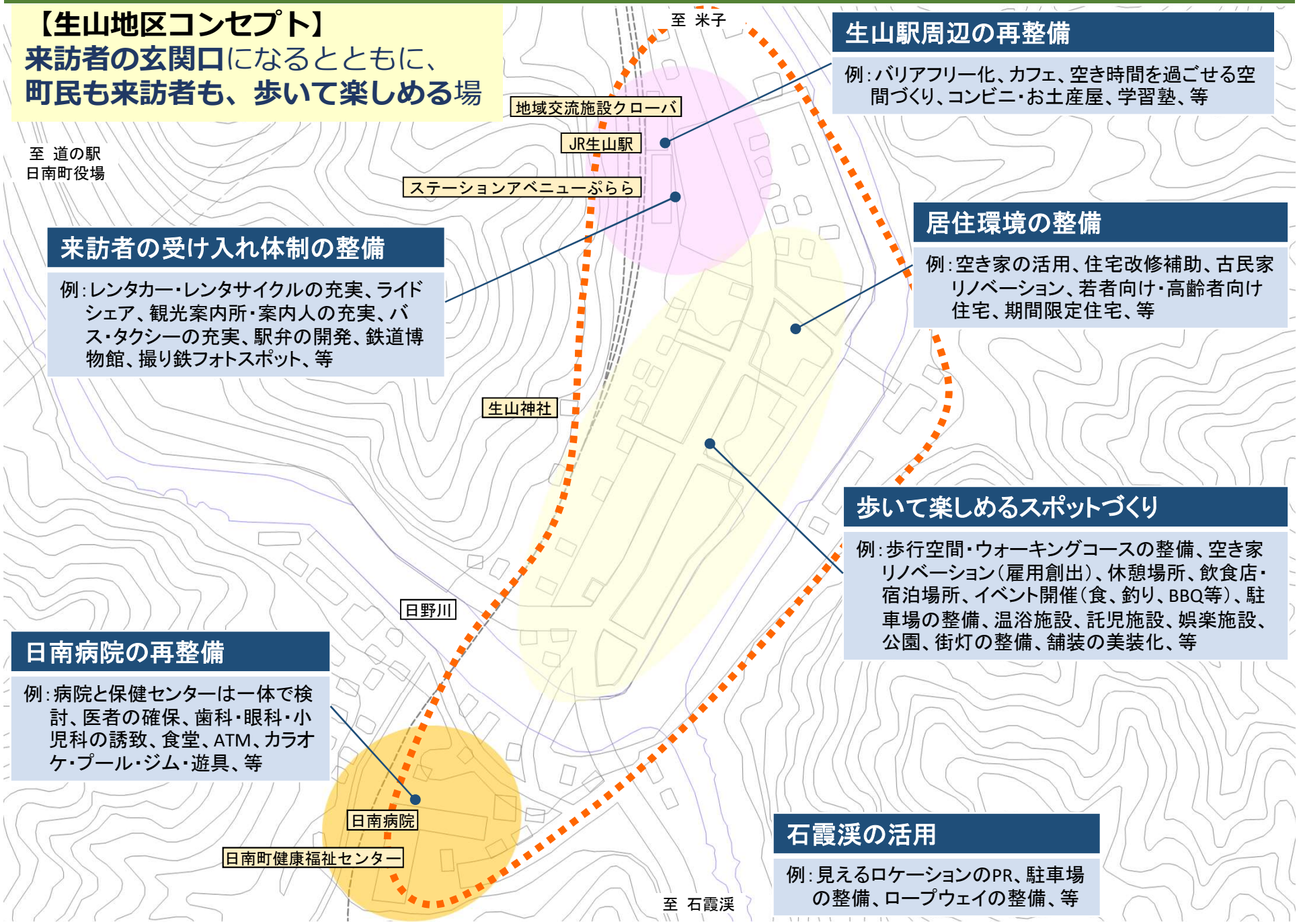
鳥取県日野郡日南町霞



鳥取県日南町 (C)2024 ZENRIN CO., LTD. （Z20LW0012）

中心地域整備　第2回ワークショップ成果【導入機能や施設】

【生山地区コンセプト】
来訪者の玄関口になるとともに、
町民も来訪者も、歩いて楽しめる場



生山駅周辺の再整備

例：バリアフリー化、カフェ、空き時間を過ごせる空間づくり、コンビニ・お土産屋、学習塾、等

来訪者の受け入れ体制の整備

例：レンタカー・レンタサイクルの充実、ライドシェア、観光案内所・案内人の充実、バス・タクシーの充実、駅弁の開発、鉄道博物館、撮り鉄フォトスポット、等

居住環境の整備

例：空き家の活用、住宅改修補助、古民家リノベーション、若者向け・高齢者向け住宅、期間限定住宅、等

歩いて楽しめるスポットづくり

例：歩行空間・ウォーキングコースの整備、空き家リノベーション（雇用創出）、休憩場所、飲食店・宿泊場所、イベント開催（食、釣り、BBQ等）、駐車場の整備、温浴施設、託児施設、娯楽施設、公園、街灯の整備、舗装の美装化、等

日南病院の再整備

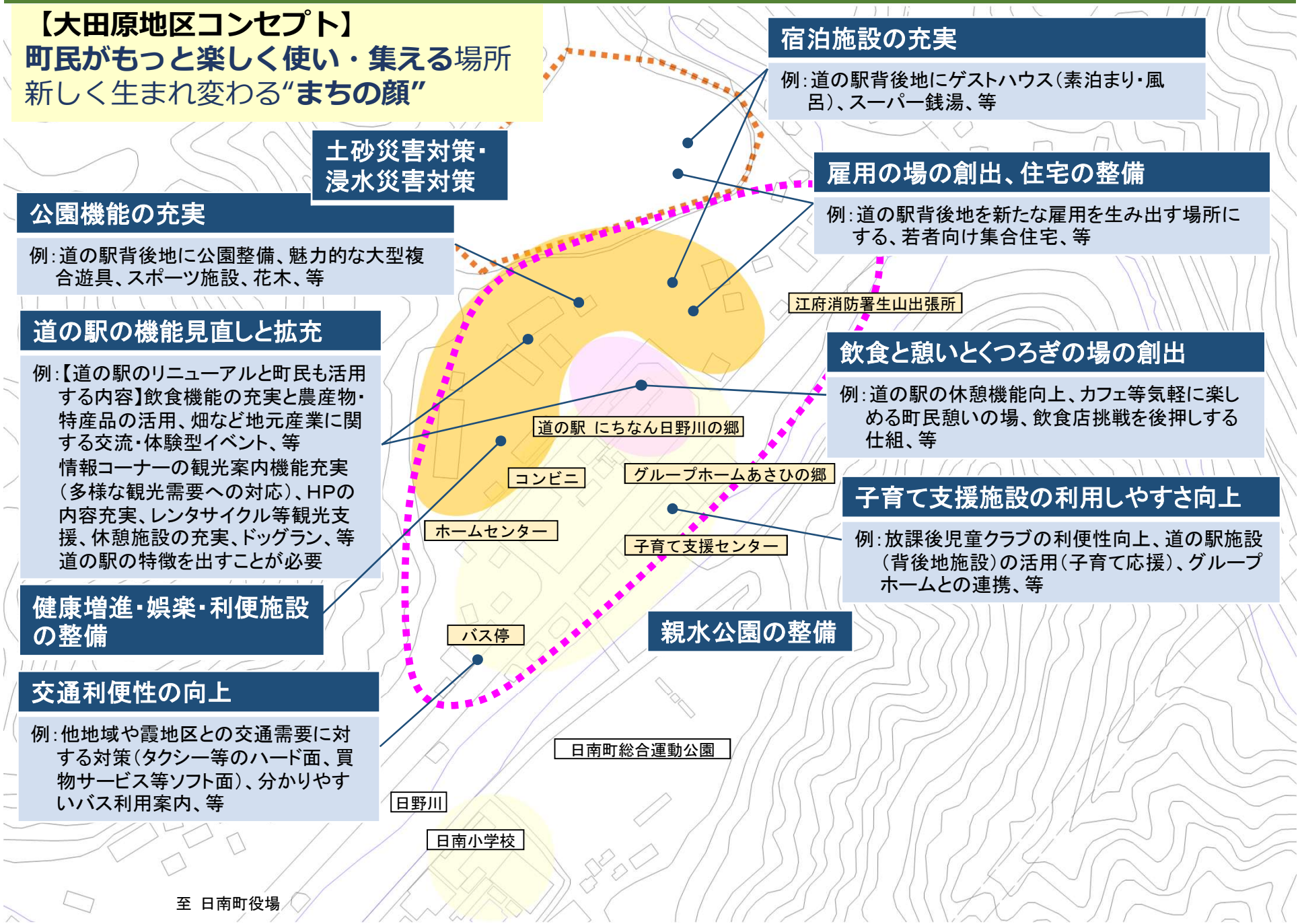
例：病院と保健センターは一体で検討、医者の確保、歯科・眼科・小児科の誘致、食堂、ATM、カラオケ・プール・ジム・遊具、等

石霞渓の活用

例：見えるロケーションのPR、駐車場の整備、ロープウェイの整備、等

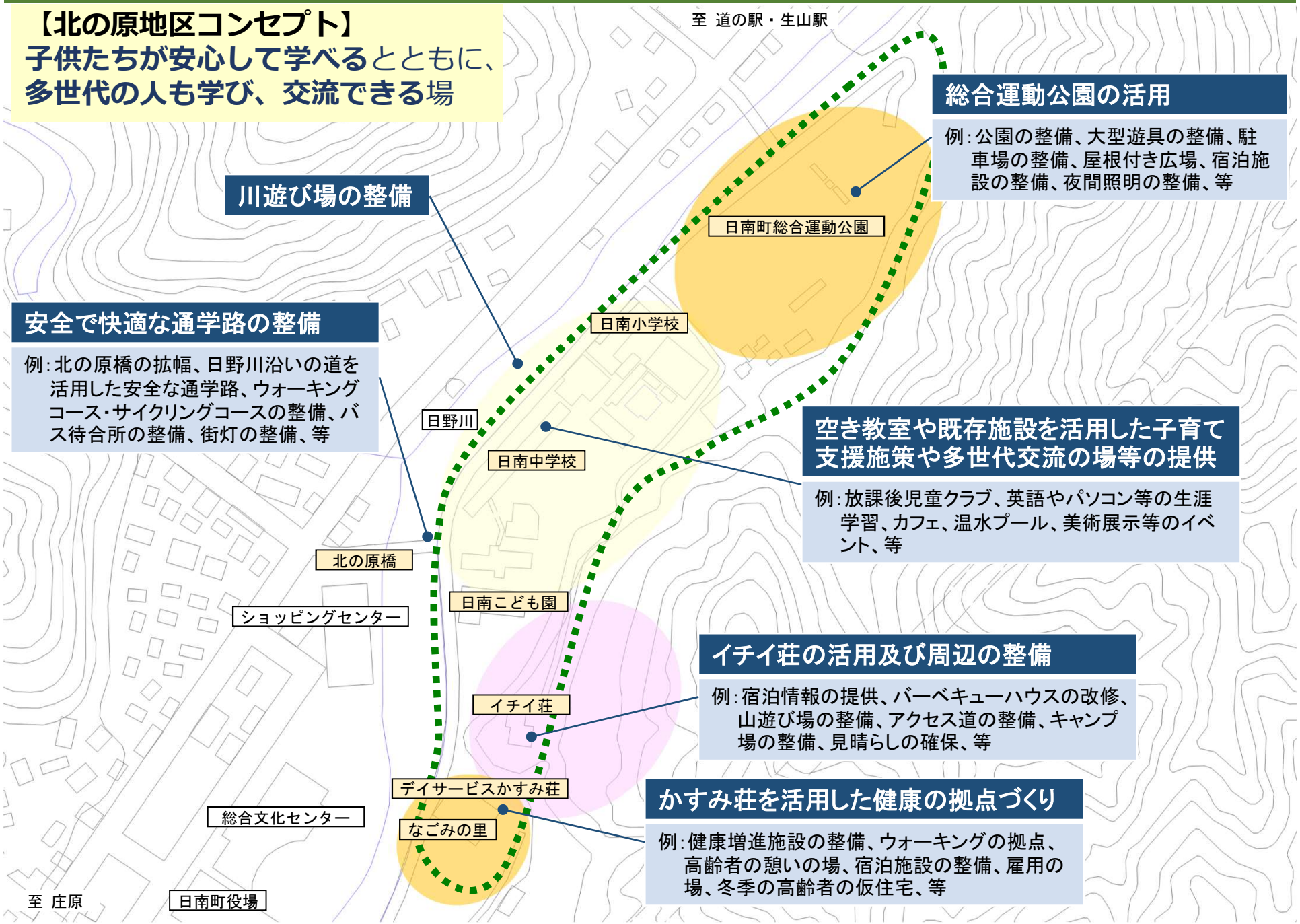
中心地域整備　第2回ワークショップ成果【導入機能や施設】

【大田原地区コンセプト】
町民がもっと楽しく使い・集える場所
新しく生まれ変わる“**まちの顔**”



中心地域整備　第2回ワークショップ成果【導入機能や施設】

【北の原地区コンセプト】
子供たちが安心して学べるとともに、多世代の人も学び、交流できる場



総合運動公園の活用

例：公園の整備、大型遊具の整備、駐車場の整備、屋根付き広場、宿泊施設の整備、夜間照明の整備、等

川遊び場の整備

安全で快適な通学路の整備

例：北の原橋の拡幅、日野川沿いの道を活用した安全な通学路、ウォーキングコース・サイクリングコースの整備、バス待合所の整備、街灯の整備、等

空き教室や既存施設を活用した子育て支援施策や多世代交流の場等の提供

例：放課後児童クラブ、英語やパソコン等の生涯学習、カフェ、温水プール、美術展示等のイベント、等

イチイ荘の活用及び周辺の整備

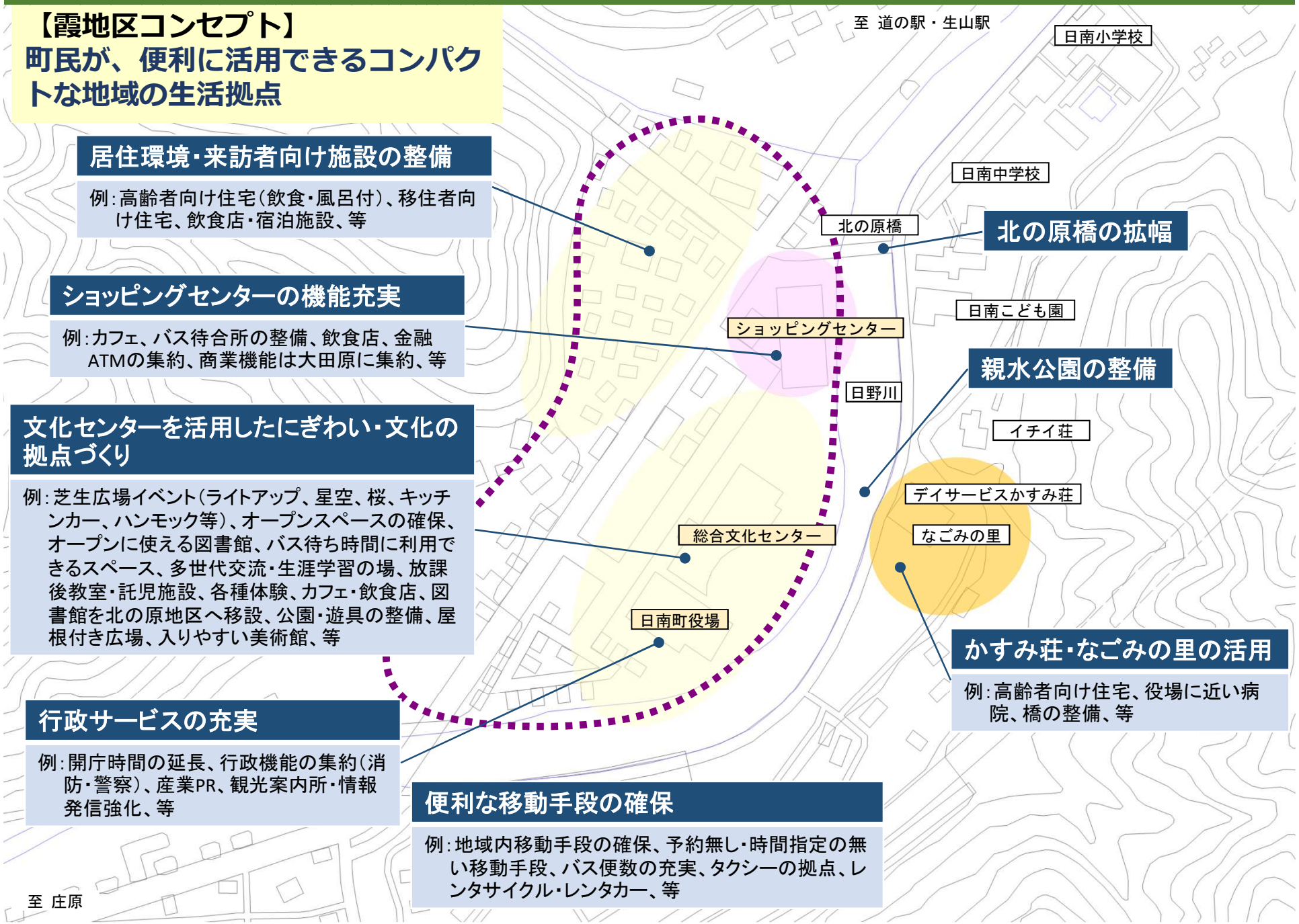
例：宿泊情報の提供、バーベキューハウスの改修、山遊び場の整備、アクセス道の整備、キャンプ場の整備、見晴らしの確保、等

かすみ荘を活用した健康の拠点づくり

例：健康増進施設の整備、ウォーキングの拠点、高齢者の憩いの場、宿泊施設の整備、雇用の場、冬季の高齢者の仮住宅、等

中心地域整備　第2回ワークショップ成果【導入機能や施設】

【霞地区コンセプト】
町民が、便利に活用できるコンパクトな地域の生活拠点



居住環境・来訪者向け施設の整備

例：高齢者向け住宅（飲食・風呂付）、移住者向け住宅、飲食店・宿泊施設、等

ショッピングセンターの機能充実

例：カフェ、バス待合所の整備、飲食店、金融ATMの集約、商業機能は大田原に集約、等

文化センターを活用したにぎわい・文化の拠点づくり

例：芝生広場イベント（ライトアップ、星空、桜、キッチンカー、ハンモック等）、オープンスペースの確保、オープンに使える図書館、バス待ち時間に利用できるスペース、多世代交流・生涯学習の場、放課後教室・託児施設、各種体験、カフェ・飲食店、図書館を北の原地区へ移設、公園・遊具の整備、屋根付き広場、入りやすい美術館、等

行政サービスの充実

例：開庁時間の延長、行政機能の集約（消防・警察）、産業PR、観光案内所・情報発信強化、等

北の原橋の拡幅

親水公園の整備

かすみ荘・なごみの里の活用

例：高齢者向け住宅、役場に近い病院、橋の整備、等

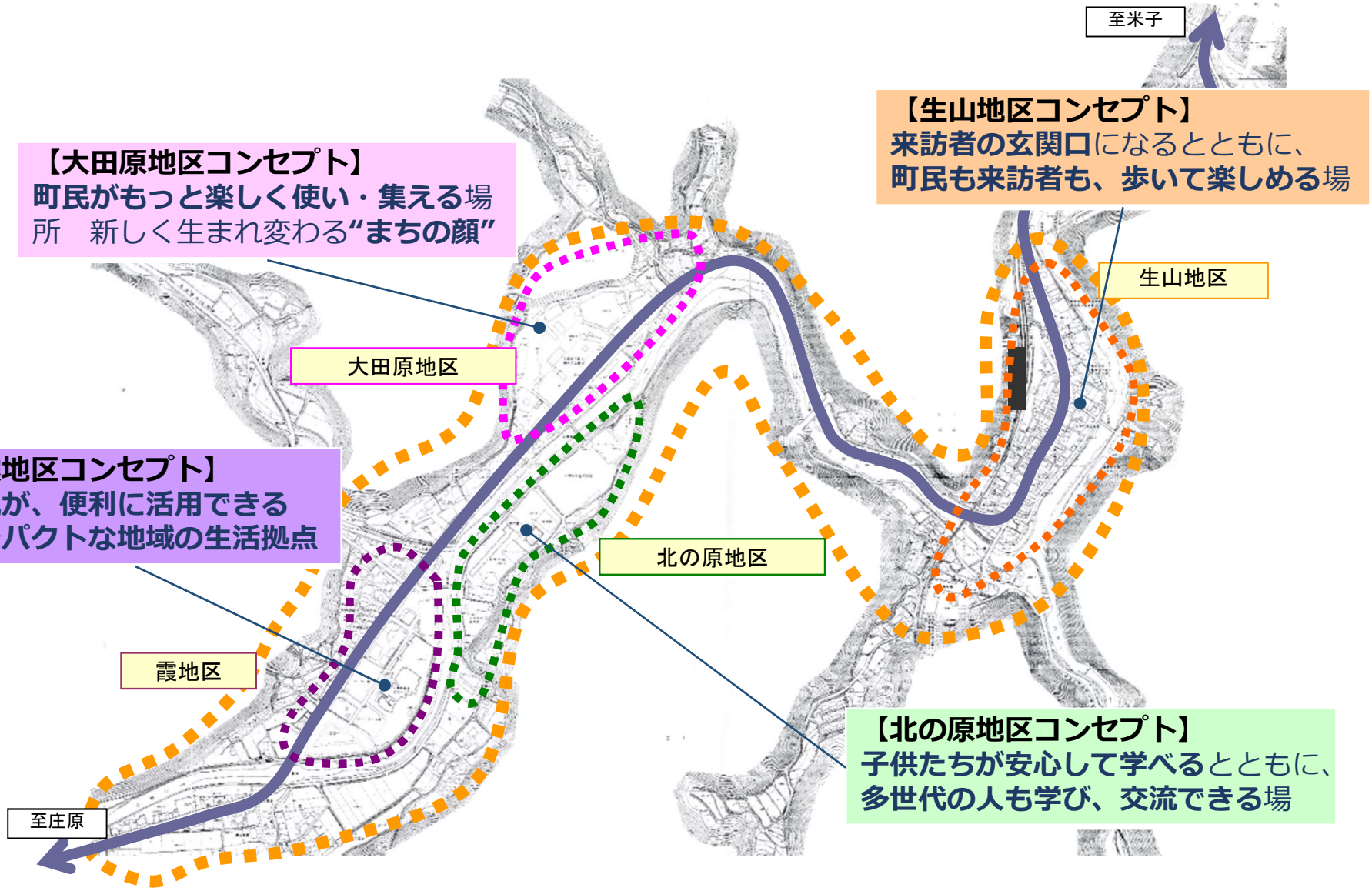
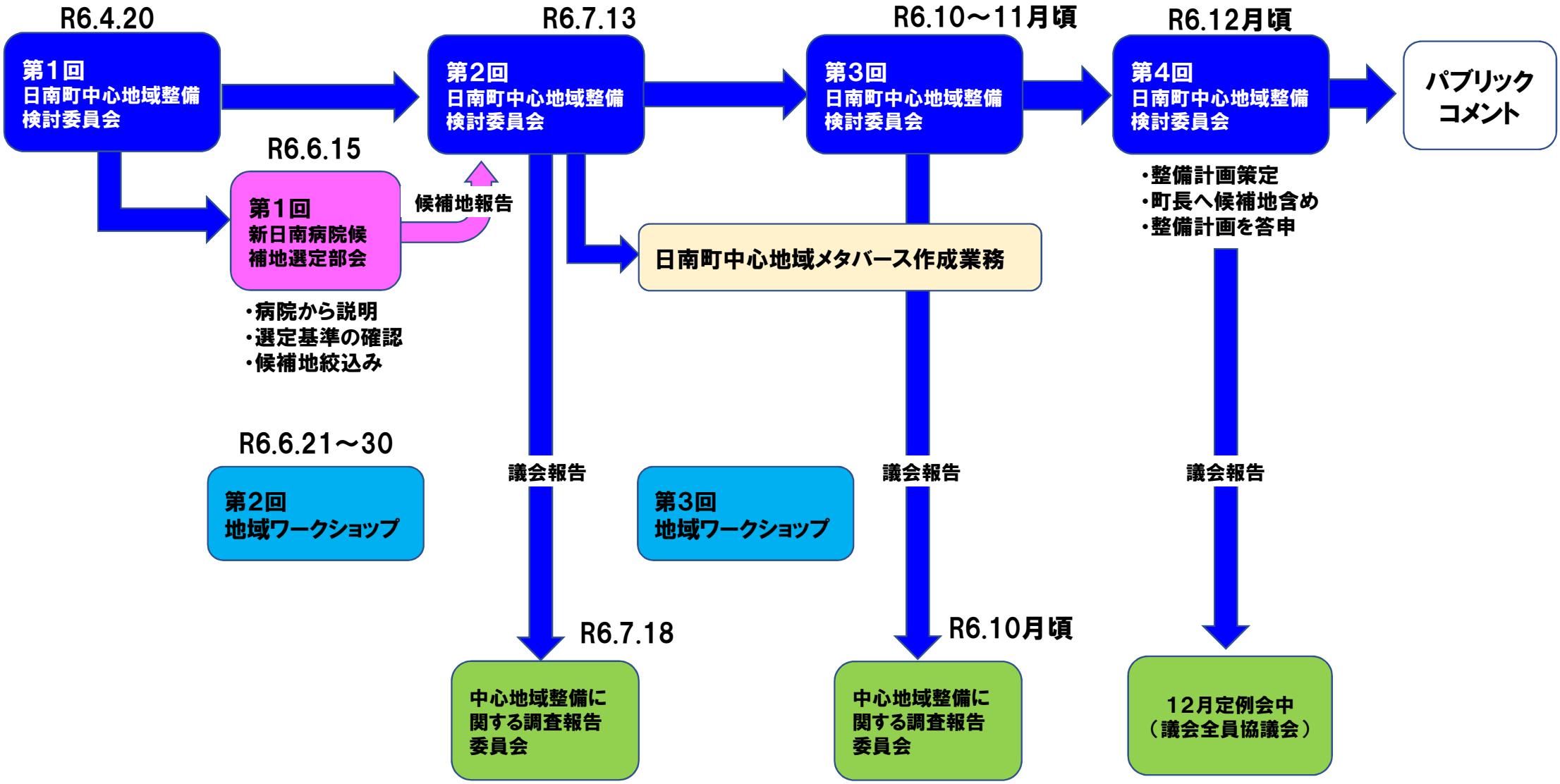
便利な移動手段の確保

例：地域内移動手段の確保、予約無し・時間指定の無い移動手段、バス便数の充実、タクシーの拠点、レンタサイクル・レンタカー、等

コンパクトヴィレッジ構想2.0　エリアコンセプト及びゾーニング（案）

コンパクトヴィレッジ構想2.0　コンセプト（案）

『つくろう、楽しさごちゃまぜ、にぎやかなまち』



日南町中心地域整備検討委員会スケジュール